

ちばけんりつびじゅつかん
千葉県立美術館

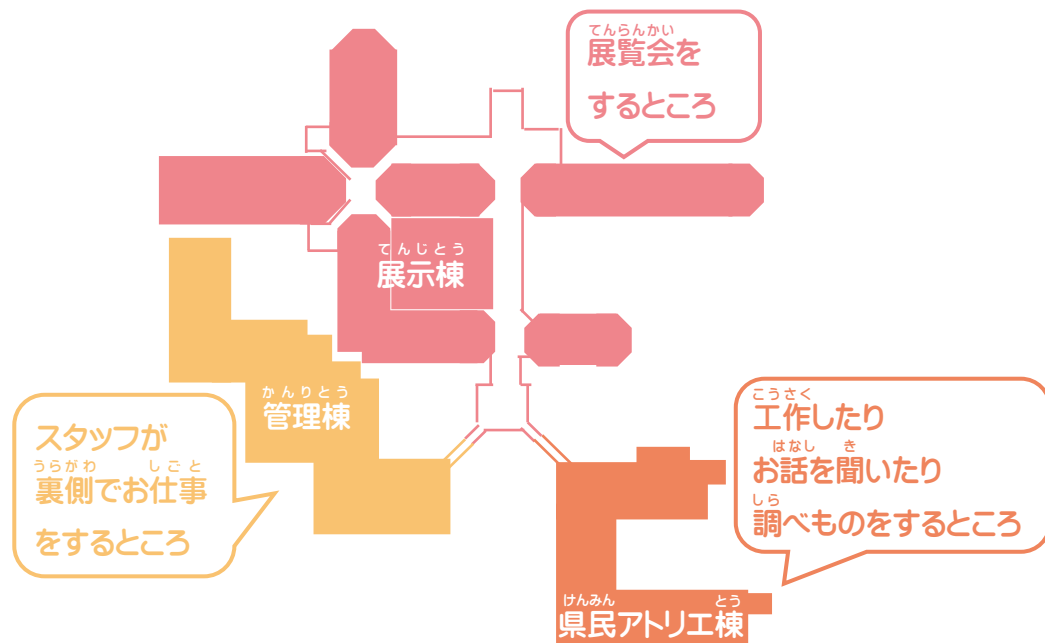
けんちく 建築ワークシート

じだい せいちょう
時代とともに成長してきた
ちばけんりつびじゅつかん
千葉県立美術館…

あなたならどこに
たてももの
どんな建物を付けたす？
なに
そこは何をするところ？

みぎ す か
右の図に書きくわえてみよう！

うらめん さんこう
※裏面を参考にしてみてね



千葉県立美術館の建築の歴史

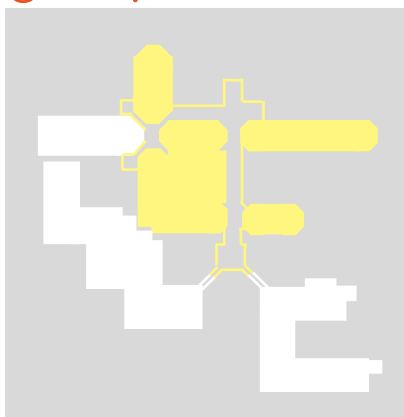
1974年、建築家の大高正人さんの設計で千葉県立美術館は建てられました。
それから約50年、「メタボリズム建築」の考えで、建物は「成長」してきました。

メタボリズム建築って？

時代や使い方、使う人の変化に合わせて、
建物の部分を増やしていくことを考えた建築のこと。

1960年に、のちに千葉県立美術館を設計する
大高正人さんたちのグループがこの考えを発表しました。

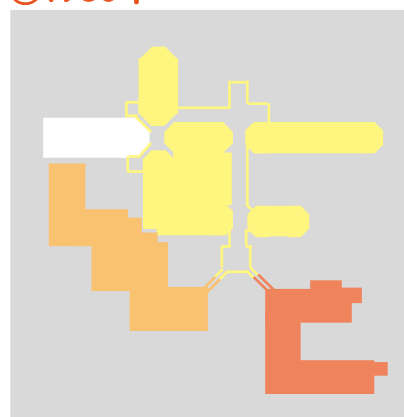
①1974年



最初に「展示棟」ができました。
作品を展示して
展覧会を開催するところです。
このとき、展示室は7個ありました。

ななめの天井が特徴の第7展示室。
椅子も大高正人さんのデザインです。
展示室の柱と椅子の脚がちょっと
似ているかも！

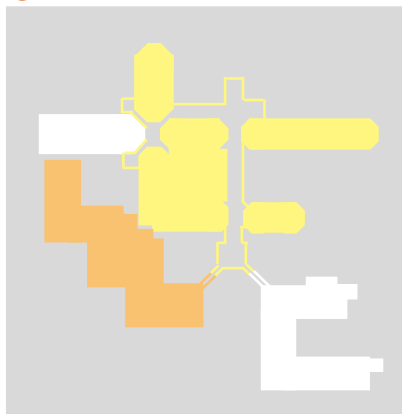
③1980年



3番目に「県民アトリエ棟」ができました。
工作ができるアトリエや、お話を聞く講堂、
アートの本がたくさんある
情報資料室があります。

展示棟と県民アトリエ棟をつなぐ
通路の途中にはつなぎ目があるよ！
さが探してみよう。

②1976年



次にできたのが「管理棟」。
展覧会の内容を考えたり、
作品のことを調べたり
裏側でお仕事をするところです。

管理棟ができるまで、
職員は第6展示室で
お仕事をしていたんだって！

最後にできたのが第8展示室。
これで展示室は全部で8個に
なりました。

第8展示室は
木のぬくもりが特徴。
他の展示室と違う雰囲気をも
感じてみて。

④1988年

